

ゴウケツバスター箱粒剤

登録番号：第23834号
毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
登録初年：2016.10.19
性状：類白色細粒
有効年限：5年
包装：1kg×12袋、10kg×1袋

種類名：ジノテフラン・トルプロカルブ粒剤
有効成分：ジノテフラン----- 12.0%
トルプロカルブ----- 9.0%
化管法指定物質：ジノテフラン [第1種] ----- 12.0%

【特長】

- いもち病に高い効果を示すトルプロカルブと殺虫成分ジノテフランを含有する箱処理剤。
- 育苗箱処理により、いもち病に対して長い残効性を示すとともに、カメムシ類、ウンカ類などの同時防除が期待できる。
- ジノテフラン12.0%を配合しているため出穂前のカメムシ類まで効果が期待できる。
- 移植時側条施用でも使用可能。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	トルプロカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、 本田での散布、無人航空機散布は合計3回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計1回以内)
	いもち病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病 ウンカ類 ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イナゴ類 イネカラバエ フタオビコヤガ	高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り50~100g)	移植3日前 ~移植当日				
		育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り50g					
稲	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	1kg/10a	移植時		側条施用		

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤を育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ◆ 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
 - ◆ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
 - ◆ 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、特に注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。
 - ◆ 葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布すること。
- 処理苗の移植後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

